



玉城 勇 議員

各公園樹木の剪定を行っているか

答 年に1回台風シーズン前に行っている

問 町内の都市公園は、清掃、草刈りが行われ利用者に喜ばれている。しかし、樹木が成長し園路が湿っている所がある。剪定は樹木を整えるために枝の一部を切り生育を等しくするにも良いと言われている。剪定及び管理状況はどうなっているか。

副町長 樹木の剪定には、年に1回程度の頻度で、台風シーズン前に行っている。剪定は、公園利用者のために木陰の確保も行っている。その影響により園路が湿っている状況があれば清掃等に対応する。

問 剪定を行うことで、ロケーションの良さを確保し公園の良さ、心地良さを維持することは、町民に喜びを与える。各公園の管理計画など予算確保はどうなっているか。

副町長 公園の維持管理は、4人の清掃班が常時各公園を巡回して清掃をしている。公園施設の修繕には、小規模の

場合には大工班にて補修を行っている。予期せぬ大規模な補修には、補正予算等に対応していく。

南風原ダムの水利用を

問 宮城区の隣に与那原町大見武区の土地改良区がある。半数近く本町が農家であり、水の確保に苦慮している。南風原ダムの水が利用できるよう与那原町と協議できないか。

副町長 与那原町から水事情について協議があれば、宮城、宮平、喜屋武地区の水利組合の意向を踏まえて検討する。

防虫、防風ネット等の助成状況は

問 くがに市場開店に向け野菜生産増産も含め防虫・防風ネット等の助成をしている。農作物被害防止事業補助金の利用者との面積はいくらになっているか。

副町長 補助事業の利用者との面積は、平成26年度は利用者17人、面積で3万1681㎡、27年度で利用者12人、面積で2万854㎡となっている。



防虫・防風ネット設置状況